

店内から見える鳥海柵跡を背景に、笑顔を見せる志穂さん



この空間でゆっくり癒される ひととき、を過すってほしい



あさくら しほ
朝倉 志穂さん (45歳)

金ケ崎町永栄在住

SUGOSU HITOTOKI (喫茶) 店主。趣味はカフェめぐり、ラーメンの食べ歩きと絵を描くこと。家族7人暮らし。

▶ SUGOSU HITOTOKI

- 住所 金ケ崎町西根古寺 133-1
- 電話 ☎ 080-6294-5327
- 営業時間 10:00 ~ 17:00 (定休日:土日)
- Facebook、Instagram でも情報発信中!

「皆さんがゆっくり過ごす空間になってほしい」そう話す志穂さんは2018年に喫茶店「SUGOSU HITOTOKI (すぐすひととき)」をオープンした。学生の頃から喫茶店を経営する夢を抱いていたが、自分にはできないと思っていた。大学卒業後、盛岡の会社に就職し結婚。結婚後に金ケ崎に移住し、産直や交通指導員として働くなかでたくさんの人と出会ったことが、店を開く自信になったという。

店名の「ヒトトキ」には、①時間のひと時②人と木③人と気(持ち)④人と喜の4つの意味が込められており、店はスギやヒノキで建てられている。

元々、久慈の小久慈焼と花巻の成島和紙が好きだった志穂さんは、あるとき、六原張り子の素材にこの2つが使われていたことを知り、「自分は好きなのに囲まれていた」と気付いた。そして、県内、町内にはこんなに素晴らしいものがたくさんあるということを知り、県内、町内にはこんな素晴らした商品も販売している。

「これまでたくさんの人に支えられてきた」と話す志穂さん。今後とも人のつながりを大切に、人に何かを与えられる存在になりたいと話す。お客さんが帰るときには「お気をつけて」と声をかける。交通安全指導員のときの習慣だという。

広報日記



先日、取材で金ケ崎中学校を訪れました。私が卒業した後に、校舎やジャージの色などが変わっており、驚くことばかりでした。ただ、体育館は当時のままで、部活や昼休み、文化祭や応援歌練習の思い出がよみがえりました。

ちなみに、私が中学生の時は、学校指定のカバンを「スクールザック」と呼んでいましたが、皆さんはどのように呼んでいましたか。(村口)

お詫びと訂正

広報かねがさき6月号に誤りがありましたのでお詫びして次のおり訂正します。

■訂正 11頁「障害者相談員を紹介します」

正 たかはし たいち 高橋太市さん
誤 たかはし たいち 高橋太一さん

人口と世帯		6月30日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,587人	(+ 5)	
男	7,978人	(+ 7)	
女	7,609人	(- 2)	
世帯数	6,168世帯	(+14)	

